

訂 正

泌尿紀要 45 : 521-526, 1999

フルタミド投与患者の肝障害の予測
—多変量解析によるリスクファクターの検討—

富士市立中央病院泌尿器科（部長：上田正山）

和田 鉄郎, 上田 正山, 阿部 和弘

慈恵医大第三病院泌尿器科（部長：山崎春樹）

小針 俊彦, 山崎 春樹

慈恵医大柏病院泌尿器科（部長：仲田浄治郎）

仲 田 浄 治 郎

東京慈恵会医科大学泌尿器科学教室（主任：大石幸彦教授）

池本 庸, 大石 幸彦

東京慈恵会医科大学内科学第一教室

相 沢 良 夫

訂 正

524頁 本文左中～右上

【訂正前】

Logistic model による多変量解析の結果では、全項目をカテゴリー変数とした検討結果で“投与前の ALT 高値”および“肝障害の既往”が有意に高リスクとなることが確認された ($p<0.05$) (Table 3). また, STEPWISE 法および SCORE 法を用いて変数を選択した結果, “投与前の ALT 高値” “肝障害の既往” “喫煙歴あり” “BMI” “飲酒歴あり” の 5 項目を選択して解析した場合に相関が最も強く認められた (Table 4).

【訂正後】

Logistic model による多変量解析の結果では、全項目をカテゴリー変数とした検討結果は Table 3 のごとくであった。また, STEPWISE 法および SCORE 法による変数選択を参考にし, Table 4 に示した 5 項目（連続値）で解析を行った結果, “投与前の ALT 高値” “肝障害の既往” “喫煙歴あり” “ALT/AST 比” に有意差 ($p<0.05$) を認めた。

和田 鉄郎